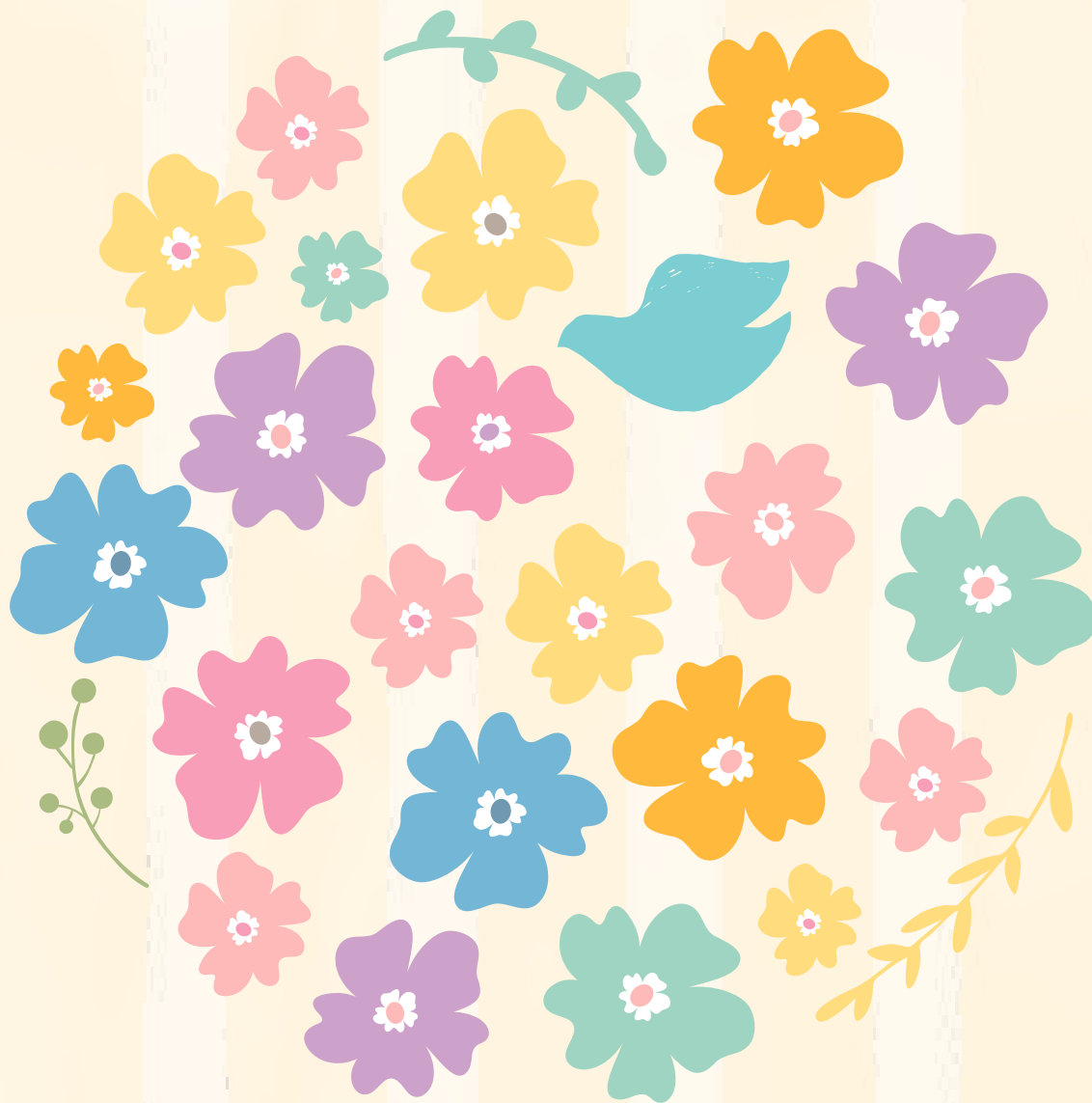


証券コード：8276



第63期中間報告書

2019年2月21日～2019年8月20日



社是

商業を通じて豊かな暮らしと
文化生活の向上に貢献し、
より多くの消費者に
なくてはならない店になる

代表取締役会長 兼 CEO

夏原 平和



5つのハトのお約束

- 1 奉仕のハトは お客様へのサービスを第一とします
- 2 創造のハトは よい品を販売します
- 3 感謝のハトは お取引先との信用を重んじます
- 4 友愛のハトは みんなの幸せを築きます
- 5 平和のハトは 地域社会のためにつくします

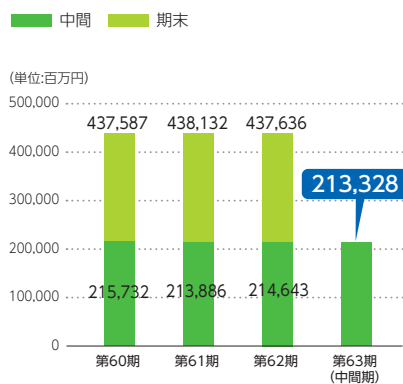
代表取締役社長 兼 COO

平松 正嗣

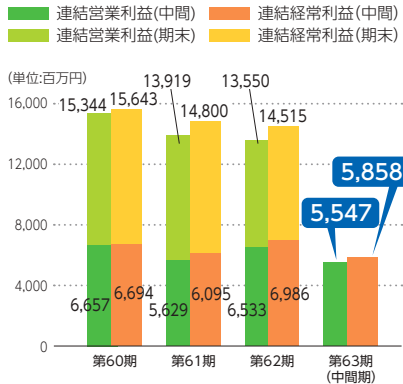


当社グループの営業成績等 (2019年8月20日現在)

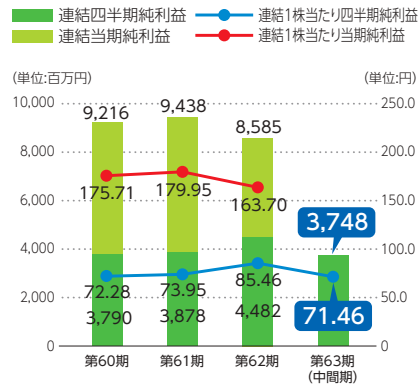
連結営業収益



連結営業利益／連結経常利益



連結四半期(当期)純利益／連結1株当たり四半期(当期)純利益



Top message

株主のみなさまにおかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当社グループの第63期中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当小売業界におきましては、前期10月まで続いた野菜相場高の反動や夏場の低気温・天候不順、業態の垣根を超えた競争の激化に加え、最低賃金の引き上げによる人件費の増加、さらに物流コストや原材料価格の引き上げによる各種値上げなど、依然として厳しい経営環境が続いております。また、今後は当期10月に実施された消費増税、キャッシュレス5%ポイント還元の影響もあり先行きは不透明感が強まっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、営業収益2,133億28百万円(前年同期比0.6%

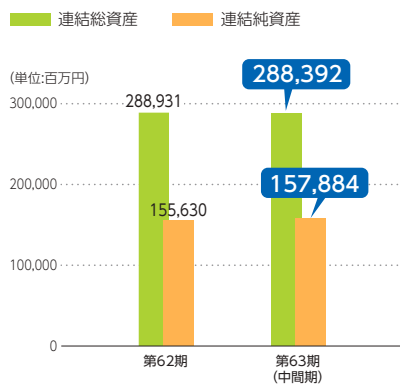
減)、営業利益55億47百万円(前年同期比15.1%減)、経常利益58億58百万円(前年同期比16.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益37億48百万円(前年同期比16.4%減)となりました。

これからも「お客様満足度の高い会社の実現」「社員満足度の高い会社の実現」「地域社会や環境との共生をはかる会社の実現」を経営方針に掲げ、その実現によって、社会に貢献する会社として、株主のみなさまのご期待にお応えすべく積極的かつ効率的な事業推進をはかってまいります。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

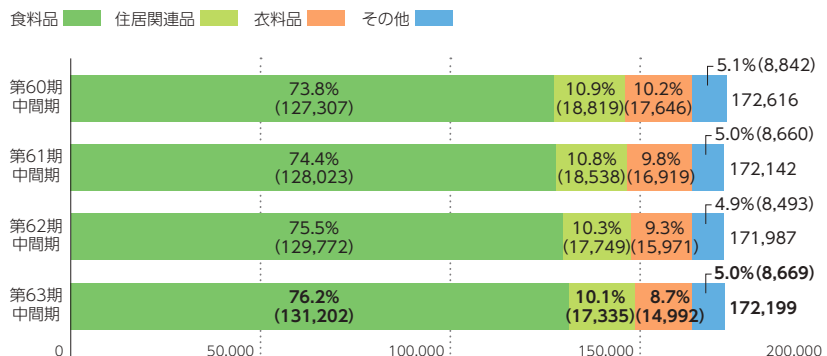
2019年10月

連結総資産／連結純資産



「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用のため第60期・第61期は表示しておりません。

単体部門別売上高 (単位:百万円)





REFRESH OPEN

アル・プラザ木津 (京都府木津川市)

食品の品揃えを豊富に、全館リフレッシュオープン

2019年
6月21日
(金)



店舗外観

オープンから19年ぶりに、全館リフレッシュオープンしました。平和堂で初めて、加工場から品出しができるフライバンキングを導入。売場の汚れが出ないことで、安全と作業の効率化の両立が実現しました。また、鮮魚売場が作る「魚屋の鮓」や精肉売場にてスライスされたローストビーフ、冷凍食品の品揃えの充実など、食品を中心にお客様のご要望にお応えする売場づくりを目指しました。さらにお支払いにセミセルフレジ

を導入し、お会計の時間の短縮やお客様のストレスの解消にも努めています。

店舗周辺は人口が増加しているエリアのため、ご家族連れにも快適にお買い物をしていただけるよう、フードコートやトイレなどの設備面もリニューアルいたしました。お買い物だけでなく、よりゆったりと過ごしていただける心地よい店舗に生まれ変わりました。



フライバンキング



セミセルフレジを導入



リニューアルしたフードコート



REFRESH OPEN

2019年
2月22日
(金)

フレンドマート梅津店 (京都府京都市)

環境にも人にもやさしい店舗へ

フレンドマート梅津店は、店舗前の市道は世界有数の観光地・嵐山への観光道路になっており、地域のお客様の日常生活に寄り添うことはもとより、観光のお客様にもご利用いただいています。

京都府亀岡市の地場野菜売場やお客様よりご要望のあったインスタベーカーリー売り場の導入に加え、新たなテナント入店やフレンドコートの改修、多



地場野菜を豊富に品揃え



多目的トイレ

目的トイレの導入などお買い物を楽しんでいただける施設づくりに取り組みました。



REFRESH OPEN

2019年
10月19日
(土)

フューチャーシティ ファボーレ (富山県富山市)

平和堂の子会社である富山フューチャー開発株式会社が運営する「フューチャーシティ ファボーレ」が、18年ぶりにリニューアル。既存館に加えて新館を新設し、地域最大級の施設として生まれ変わりました。

ショッピングも、エンターテイメントも、居心地も

リニューアルのコンセプトは、「ショッピングの充実」「エンターテイメント・フードコートの充実」「居心地の良さ」。あらゆる生活シーンで機能強化を図りお客様満足度NO.1を目指して、生まれ変わりました。

ファボーレ内「アル・プラザ富山」では、ファッションやビューティー、雑貨店など新しいショップがオープンしています。富山県初や北陸最大級の全国メジャーテナントもオープンしています。



ファボーレ外観

また、立山を一望できる大型フードコート「立山フードテラス」の導入や、アミューズメント設備の刷新、シネコンとの連動などエンターテイメント機能を強化し、ショッピングだけではなく、楽しい時間と空間の提供もしています。

TOPICS 1

平和堂の CSR 5 A DAY (ファイブ・ア・デイ)※ 食育体験ツアーで食育推進

平和堂では、1日に5皿分(350g)以上の野菜と200gの果物を食べることを推奨する食育体験ツアーを開催しています。

食育インストラクターが活躍

平和堂では、5歳児・小学3年生を対象に、座学や買い物ゲーム、クイズなどを通して、バランスよく食べること、特に野菜や果物の重要性を学んでいただく5 A DAY食育体験ツアーを実施しています。楽しく学んでいただける体験型の学習は、子どもたちだけでなく、先生方や保護者の方にも喜ばれています。

この食育体験ツアーを運営するのは、ファイブ・ア・デイ協会から講師として認定されたパート社員を含む平和堂社員。2018年度までに食育インストラクター養成



座学の様子



身体を動かしながら楽しく学びます

講座を修了した自社講師が12名誕生し、各店舗で活躍しています。ツアーを通じて、次世代を担う子どもたちに正しい食生活のあり方を伝え、より地域に親しんでいたいただけるイベントになるよう日々取り組んでいます。

※5 A DAY運動…がんや生活習慣病の予防対策として世界30カ国以上展開されている食生活改善運動。平和堂はファイブ・ア・デイ協会の会員となり、野菜・果物摂取を推進する食育活動を行っています。

食育イベント パフォーマンスショー「レシピ」開催

平和堂では、「食べること」について楽しく考えてもらう食育イベント「レシピ」を今年度から新たに開催しています。



野菜についての〇×クイズ大会

野菜に興味を持っていただく内容のオリジナルストーリーで、ジャグリング・マジック・パントマイムの人気パフォーマーによる平和堂でしか観ることのできないパフォーマンスショーです。野菜クイズラリーの他、野菜ジュースの試飲、サラダの試食など、ご家族でご参加いただけるイベントになっています。



TOPICS 2

第10回からあげグランプリで 最高金賞を受賞

新設された「西日本スーパー総菜部門」で初代グランプリ獲得

平和堂のデリカコーナーで販売している「じゅわ旨!!生姜香る鶏もも唐揚げ」が、「第10回からあげグランプリ」の新設部門である「西日本スーパー総菜部門」において、エントリー57社の中で最高金賞を受賞しました。

鶏もも肉に、高知県産生姜・淡口醤油・リンゴ果汁、青森県産にんにくを使ったこだわりの特製下味たれを揉みこんで、カリッとジューシーに揚げた唐揚げ。平和堂の総菜コーナーのこだわりを感じていただける一品です。



じゅわ旨!!生姜香る鶏もも唐揚げ

グループ会社紹介

株式会社ダイレクト・ショップ

レンタル事業、書店業を通じてパーソナルエンターテインメントの提案を行なう「株式会社ダイレクト・ショップ」では、新規事業として24時間型フィットネス事業に参入し「エニタイムフィットネス」を展開しています。

7月1日には5店舗目となる

「エニタイムフィットネス近江八幡店」(滋賀県近江八幡市)をオープン。昼夜を問わず好きな時に好きなだけ、最上位グレードのマシンでトレーニングができます。今後も健康志向の強いお客様のニーズに沿った事業展開を進めてまいります。



「エニタイムフィットネス」内観

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位:百万円)

科 目	当中間期 2019年8月20日現在	前 期 2019年2月20日現在
資産の部		
流 動 資 産	52,847	54,018
固 定 資 産	235,545	234,913
有 形 固 定 資 産	193,553	191,584
無 形 固 定 資 産	10,176	10,630
投 資 そ の 他 の 資 産	31,815	32,698
資 産 合 計	288,392	288,931
負債の部		
流 動 負 債	88,744	87,288
固 定 負 債	41,764	46,012
負 債 合 計	130,508	133,301
純資産の部		
株 主 資 本	153,176	150,372
資 本 金	11,614	11,614
資 本 剰 余 金	19,518	19,518
利 益 剰 余 金	134,353	131,549
自 己 株 式	△12,310	△12,309
その他の包括利益累計額	2,226	2,768
その他有価証券評価差額金	1,046	1,448
為替換算調整勘定	1,633	1,881
退職給付に係る調整累計額	△454	△561
非支配株主持分	2,481	2,489
純 資 産 合 計	157,884	155,630
負 債 純 資 産 合 計	288,392	288,931

Point 1 資産合計の減少

有形固定資産が増加した一方で、商品及び製品、投資有価証券、敷金及び保証金、無形固定資産が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べ

5億38百万円減少

Point 2 負債合計の減少

コマーシャル・ペーパー(流動負債その他)が増加した一方で、短期借入金、長期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ

27億92百万円減少

Point 3 純資産合計の増加

利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ

22億53百万円増加

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	前中間期	当中間期	前 期
	2018年2月21日から 2018年8月20日まで	2019年2月21日から 2019年8月20日まで	2018年2月21日から 2019年2月20日まで
営 業 収 益	214,643	213,328	437,636
売 上 高	201,100	199,730	410,321
営 業 収 入	13,543	13,597	27,315
売 上 原 価	141,738	140,864	289,143
売 上 総 利 益	59,361	58,865	121,178
営 業 総 利 益	72,905	72,463	148,492
販売費及び一般管理費	66,371	66,916	134,942
営 業 利 益	6,533	5,547	13,550
営 業 外 収 益	575	395	1,166
営 業 外 費 用	121	84	200
経 常 利 益	6,986	5,858	14,515
特 別 利 益	165	0	518
特 別 損 失	299	156	1,706
税金等調整前四半期(当期)純利益	6,852	5,702	13,328
法 人 税 等	2,255	1,891	4,533
四 半 期 (当 期) 純 利 益	4,597	3,810	8,795
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益	114	62	209
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	4,482	3,748	8,585

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

Point 4

営業収益2,133億28百万円(前年同期比0.6%減)となりました。

Point 5

営業利益55億47百万円(前年同期比15.1%減)となりました。

Point 6

親会社株主に帰属する四半期純利益37億48百万円(前年同期比16.4%減)となりました。

Point 7

預り金の増減額が7億8百万円、仕入債務の増減額が4億13百万円減少したこと等により、前年同期に比べ14億71百万円減少し、121億43百万円となりました。

Point 8

コマーシャル・ペーパーの純増減額が40億円増加した他、長期借入金の返済による支出が8億8百万円減少したこと等により、前年同期に比べ57億17百万円減少し、40億52百万円となりました。

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	前中間期	当中間期	前 期
	2018年2月21日から 2018年8月20日まで	2019年2月21日から 2019年8月20日まで	2018年2月21日から 2019年2月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,615	12,143	20,984
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,829	△9,282	△9,134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,769	△4,052	△11,419
現金及び現金同等物に係る換算差額	△138	△104	△386
現金及び現金同等物の増減額	△3,123	△1,295	43
現金及び現金同等物の期首残高	19,113	19,156	19,113
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	15,990	17,861	19,156

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社概要

(2019年8月20日現在)

社名 株式会社 **平和堂**
 所在地 〒522-8511 滋賀県彦根市西今町1番地
 電話 0749-23-3111(代)
 設立 1957年6月
 資本金 11,614,379,000円
 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
 従業員数 3,494名(男2,464名 女1,030名)
 事業内容 食料品、衣料品、日用雑貨品等の総合小売業
 および店舗賃貸業等
 店舗数 151店舗

役員

(2019年8月20日現在)

代表取締役会長兼CEO	夏原平和
代表取締役社長兼COO	平松正嗣
専務取締役	夏原行平
常務取締役	夏原陽平
常務取締役	田淵寿
取締役	福嶋繁
取締役	田中仁史
取締役	小杉茂樹
取締役(常勤監査等委員)	竹中昭敏
社外取締役(監査等委員)	軸丸欣哉
社外取締役(監査等委員)	木下貴司
社外取締役(監査等委員)	山川晋

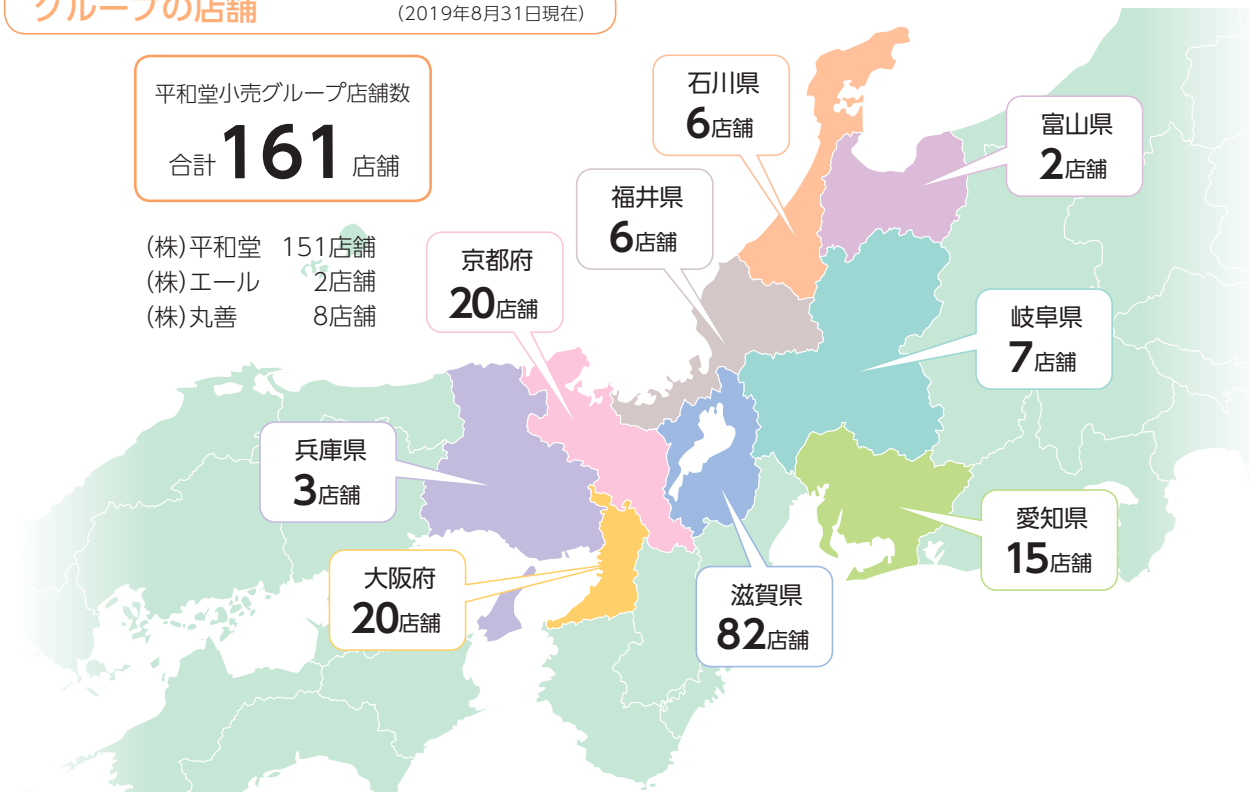
グループの店舗

(2019年8月31日現在)

平和堂小売グループ店舗数

合計 **161** 店舗

(株)平和堂 151店舗
 (株)エール 2店舗
 (株)丸善 8店舗



株式の状況

(2019年8月20日現在)

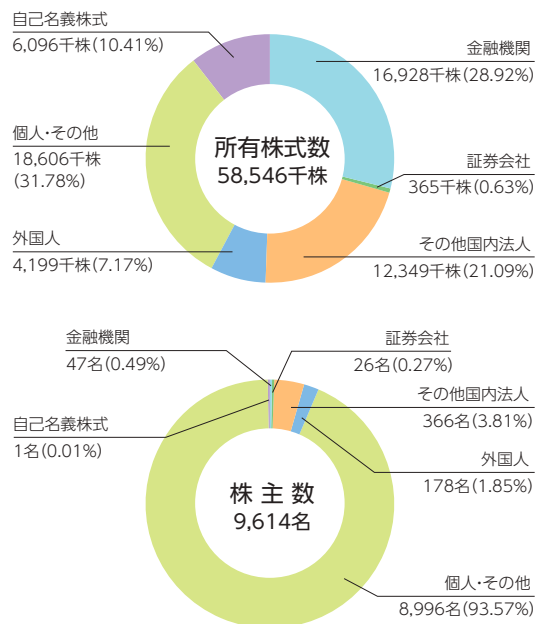
発行可能株式総数…………… 150,000,000 株
 発行済株式の総数…………… 58,546,470 株
 株主数…………… 9,614 名

大株主 (上位10名)

株主名	所有株式数 千株	出資比率 %
夏原 平和	4,726	9.01
平和堂共栄会	2,859	5.45
株式会社滋賀銀行	2,500	4.77
公益財団法人平和堂財団	2,500	4.77
株式会社ピース&グリーン	1,950	3.72
日本生命保険相互会社	1,861	3.55
平和観光開発株式会社	1,694	3.23
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	1,441	2.75
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,248	2.38
株式会社三菱UFJ銀行	1,024	1.95

※当社は、自己株式6,096千株を保有しておりますが、上記大株主より除いております。
 ※出資比率は、自己株式を控除して計算しております。

● 株式分布状況



グループ会社

(2019年8月20日現在)

食料品、衣料品、日用雑貨品等の小売業

株式会社 エール 平和堂(中国)有限公司
 株式会社 ヤナゲン 株式会社 丸善

飲食店等の経営

株式会社 ファイブスター 株式会社 シー・オー・エム

書籍・CD・DVD等の販売およびCD・DVD・ビデオレンタル業

株式会社 ダイレクト・ショップ

米飯、惣菜等の製造・加工・販売および精肉鮮魚加工

株式会社 ベストーネ

アミューズメントの運営、飲食店等の経営

株式会社 ユーイング

総合ビル管理および警備保安業

株式会社 ナショナルメンテナンス

ホテル経営

株式会社 グランドデュークホテル

その他の子会社

(2019年8月20日現在)

舞鶴流通産業 株式会社
 南彦根都市開発 株式会社
 加賀コミュニティプラザ 株式会社
 福井南部商業開発 株式会社
 武生駅北パーキング 株式会社
 富山フューチャー開発 株式会社
 湖南平和物業発展有限公司

計18社

株主メモ

事業年度 毎年2月21日から翌年2月20日まで
基準日 2月20日
(その他必要ある場合はあらかじめご告知いたします。)

定時株主総会 5月
期末配当金受領株主確定日 2月20日
中間配当金受領株主確定日 8月20日

〈株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について〉

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎0120-782-031

〈特別口座について〉

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)をご利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告方法 電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。(http://www.heiwado.jp/)

ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主優待制度のお知らせ

当社株式100株以上ご所有の株主様へのご優待制度です。

毎年2回(8月20日、2月20日)現在の当社株式100株以上をご所有の株主様に対して「株主様ご優待券」(額面100円)または「ギフトカード」を下記の基準によりお選びいただけます。



●株主様ご優待券をご選択の場合

(注)ご使用方法は、1回のお買上げ金額(1枚のレシートの税込金額)1,000円以上につき、1,000円毎に1枚(100円券)ご使用いただけます。なお、「株主様ご優待券」は、(株)平和堂、(株)エールおよび(株)丸善の各直営店舗でご使用いただけます。(テナントおよび協同組合は除く)

ご所有株式数	1回当たりの贈呈額
100株～ 499株	1,000円のご優待券 100円券× 10枚
500株～ 999株	5,000円のご優待券 100円券× 50枚
1,000株～1,999株	10,000円のご優待券 100円券×100枚
2,000株～2,999株	20,000円のご優待券 100円券×200枚
3,000株～3,999株	30,000円のご優待券 100円券×300枚
4,000株～4,999株	40,000円のご優待券 100円券×400枚
5,000株以上	50,000円のご優待券 100円券×500枚

●ギフトカードをご選択の場合

ご所有株式数	1回当たりの贈呈額
100株～ 999株	500円相当
1,000株以上	2,000円相当

表紙のご案内



お客様のライフスタイルの変化に伴う多様なニーズにお応えするために今回ギフト包装に使用する包装紙のデザイン変更をおこないました。表紙デザインを含め3種類の新デザイン包装紙を導入いたしました。

今後もお客様のご期待にお応えする商品や売場展開、サービスの向上に努めてまいります。



株式会社 **平和堂**

[ホームページアドレス] <http://www.heiwado.jp/>

